



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6090 URL <http://humanmetabolome.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅野 隆二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 長谷川 哲也 (TEL) 03-3551-2180
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	450	27.6	△167	—	△163	—	△162	—
27年3月期第3四半期	353	6.0	△224	—	△209	—	△212	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △161百万円(—%) 27年3月期第3四半期 △209百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△30.49	—
27年3月期第3四半期	△40.47	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しているものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,570	1,429	91.0
27年3月期	1,741	1,583	90.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,429百万円 27年3月期 1,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900	31.1	15	—	18	—	12	—	2.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	5,333,200株	27年3月期	5,320,900株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	一株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	5,330,065株	27年3月期3Q	5,260,091株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブページ(<http://humanmetabolome.com/ir>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の金融政策が正常化に向かう一方、中国をはじめとした新興国の経済成長の減速等が懸念材料となり、依然として不透明な状況で推移しました。国内においては、企業収益や雇用環境等が引き続き改善し、緩やかな回復基調で推移しました。

当社が属するライフサイエンス業界においては、高齢化を背景として医療費の増加が続く中、予防医療の推進等に期待が高まっています。また、昨年4月に発足した日本医療研究開発機構（AMED）による医療関連の研究開発支援が進められています。

このような状況の中、当社グループでは、メタボローム解析事業の受注拡大に向けて、セミナーやキャンペーンを中心に積極的な販促活動を継続的に実施するとともに、更なる顧客基盤・収益基盤の拡充に向けて、新たな測定・解析プランの開発等に取り組んでまいりました。また、大うつ病性障害のバイオマーカーの事業化に向けて、共同研究先であるシスメックス株式会社と連携して技術的課題の解決に取り組み、ライセンス契約を締結しました。更に、同社との共同研究によるうつ病検査キットの開発を推進することに加え、より多面的な観点からバイオマーカー事業を当社グループの新たな収益源として確立することを目的に、その受け皿として新たに子会社を設立することとしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は450,746千円（前年同期比27.6%増）、営業損失は167,843千円（前年同期は224,319千円の営業損失）、経常損失は163,861千円（前年同期は209,525千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は162,498千円（前年同期は212,898千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前年同期との比較・分析は変更後の区分に基づいております。

① メタボローム解析事業

国内においては、前期に強化した営業体制のもと、大口案件獲得に積極的に取り組んだ他、セミナー等を121回開催し医薬分野での販促に注力しました。海外においては、米国においてダイレクトメールや学会でのプロモーション活動に効果が見られ、SCOPEシリーズを中心に売上が伸長した他、韓国・シンガポールなどアジア圏からの受注獲得にも注力しました。この結果、売上高は385,035千円（前年同期比23.8%増）、セグメント利益は82,701千円（前年同期比182.5%増）となりました。

なお、当社グループのメタボローム解析事業は、医療機関・研究機関を中心とした多くの顧客の年度末にあたる当社第4四半期連結会計期間に売上高、利益ともに大きくなる傾向にあります。

② バイオマーカー事業

当事業セグメントにおいては、大うつ病性障害のバイオマーカーの事業化に向け、かねてより共同研究を進めてまいりましたシスメックス株式会社とライセンス契約を締結したことに加え、より多面的な観点からバイオマーカー事業を当社グループの新たな収益源として確立することを目的に、新たに子会社を設立することとしました。また、精神科専門病院との提携による大うつ病性障害の有償臨床検査受託にも引き続き注力しました。この結果、売上高は30,690千円（前年同期比307.6%増）、セグメント損失は35,731千円（前年同期は63,134千円のセグメント損失）となりました。

③ 人材派遣事業

大学向けに研究者、技術者等を派遣し、売上高は35,020千円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は907千円（前年同期比63.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,360,242千円となり、前連結会計年度末に比べ240,616千円減少しました。これは、売掛金が30,270千円、有価証券が199,894千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は210,499千円となり、前連結会計年度末に比べ70,128千円増加しました。これは、投資有価証券が102,150千円、有形固定資産の減価償却累計額が43,060千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は110,587千円となり、前連結会計年度末に比べ6,960千円増加しました。これは、買掛金が6,229千円減少した他、その他に含め表示している未払消費税等が減少、未払費用及び前受金が増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は30,701千円となり、前連結会計年度末に比べ23,883千円減少しました。これは、長期借入金が11,360千円、リース債務が8,094千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,429,453千円となり、前連結会計年度末に比べ153,565千円減少しました。これは、新株予約権の行使により資本金が4,102千円、資本剰余金が4,102千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失162,498千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、例年第4四半期連結会計期間に収益が偏る傾向にあります。当第3四半期連結会計期間末において、メタボローム解析事業の受注に計画比で若干の遅れが生じておりますが、引き続き大口案件獲得や販促活動に注力し、計画達成に向け全力で取り組んでおります。

このような状況を踏まえ、今後の受注動向等を慎重に見極める必要があることから、平成27年5月13日公表の通期連結業績予想を据え置くことといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	962,926	937,391
売掛金	106,329	76,059
有価証券	500,262	300,368
商品	5,100	17,662
仕掛品	1,882	3,692
原材料及び貯蔵品	4,957	9,850
その他	19,412	15,226
貸倒引当金	△10	△7
流動資産合計	1,600,859	1,360,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,357	16,357
工具、器具及び備品	226,419	238,131
リース資産	121,567	121,567
減価償却累計額	△234,478	△277,539
有形固定資産合計	129,866	98,516
無形固定資産		
4,867		4,088
投資その他の資産		
投資有価証券	—	102,150
その他	5,636	5,743
投資その他の資産合計	5,636	107,894
固定資産合計	140,370	210,499
資産合計	1,741,230	1,570,742
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,625	395
1年内返済予定の長期借入金	17,040	17,040
リース債務	19,532	13,022
未払法人税等	3,755	4,216
その他	56,672	75,912
流動負債合計	103,626	110,587
固定負債		
長期借入金	14,420	3,060
リース債務	16,354	8,259
繰延税金負債	10,039	6,499
資産除去債務	11,774	11,865
その他	1,997	1,017
固定負債合計	54,585	30,701
負債合計	158,211	141,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,249,639	1,253,741
資本剰余金	1,238,355	1,242,457
利益剰余金	△915,204	△1,077,702
株主資本合計	1,572,790	1,418,496
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,227	10,956
その他の包括利益累計額合計	10,227	10,956
純資産合計	1,583,018	1,429,453
負債純資産合計	1,741,230	1,570,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	353,353	450,746
売上原価	155,730	151,900
売上総利益	197,622	298,846
販売費及び一般管理費	421,941	466,689
営業損失(△)	△224,319	△167,843
営業外収益		
受取利息及び配当金	558	1,476
補助金収入	6,690	4,647
移転補償金	8,471	—
その他	716	333
営業外収益合計	16,437	6,457
営業外費用		
支払利息	1,360	877
為替差損	—	1,492
その他	282	105
営業外費用合計	1,642	2,475
経常損失(△)	△209,525	△163,861
税金等調整前四半期純損失(△)	△209,525	△163,861
法人税、住民税及び事業税	2,728	2,176
法人税等調整額	644	△3,539
法人税等合計	3,373	△1,362
四半期純損失(△)	△212,898	△162,498
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△212,898	△162,498

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△212,898	△162,498
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,112	729
その他の包括利益合計	3,112	729
四半期包括利益	△209,785	△161,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△209,785	△161,769
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	人材派遣事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	310,940	7,530	34,882	353,353
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	310,940	7,530	34,882	353,353
セグメント利益又は損失(△)	29,276	△63,134	555	△33,302

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△33,302
全社費用(注)	△191,017
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△224,319

(注)セグメント利益の全社費用△191,017千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	人材派遣事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	385,035	30,690	35,020	450,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	385,035	30,690	35,020	450,746
セグメント利益又は損失(△)	82,701	△35,731	907	47,877

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	47,877
全社費用(注)	△215,720
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△167,843

(注) セグメント利益の全社費用△215,720千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントのうち、「メタボロミクスキット事業」については、メタボロミクスキット本体の販売終了に伴い経営管理体制を見直し、「メタボローム解析事業」に含めることとしました。

また、当該経営管理体制の変更に伴い、従来全社費用に含めておりました営業部門の費用を、直接帰属する報告セグメント「メタボローム解析事業」に含めることとしました。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の方法により作成しております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、平成27年12月10日開催の取締役会において、新たに当社100%出資による子会社を設立することを決議し、平成28年1月21日に設立いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社は、独立行政法人国立精神・神経医療研究センター及び医療法人社団行基会 理事長 川村則行医師との共同研究により、大うつ病性障害の血液バイオマーカー(リン酸エタノールアミン)を発見し、同バイオマーカーに関連する特許を日本、米国及び中国で登録しております。

当社は、同バイオマーカー(リン酸エタノールアミン)のレベルを酵素法により定量する検査キット開発のため、シスメックス株式会社(以下、シスメックス社)と共同研究を行い、当該共同研究の結果を受けて、当社が保有する同バイオマーカー関連特許の通常実施権をシスメックス社に対して許諾するものとし、平成27年9月にライセンス契約を締結いたしました。

今般、シスメックス社との共同研究によるうつ病検査キットの開発を推進することに加え、より多面的な観点からバイオマーカー事業を当社グループの新たな収益源として確立することを目的に、その受け皿として新たに子会社を設立することといたしました。

2. 設立する子会社の概要

(1) 商号	HMTバイオメディカル株式会社
(2) 所在地	神奈川県横浜市
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宮崎 年恭
(4) 事業内容	研究用試薬及び研究用機器の製造、販売及び輸出入 医薬品及び医療機器の製造、販売及び輸出入
(5) 資本金	50百万円
(6) 設立年月日	平成28年1月21日
(7) 大株主及び出資比率	当社が100%の株式を保有

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前年同期との比較・分析は変更後の区分に基づいております。

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
メタボローム解析事業	6,875	66.1
合計	6,875	66.1

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額は、メタボローム解析事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。
 3. その他メタボローム解析事業、バイオマーカー事業及び人材派遣事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
メタボローム解析事業	22,848	137.1
合計	22,848	137.1

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額は、メタボローム解析事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。
 3. その他メタボローム解析事業、バイオマーカー事業及び人材派遣事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	563,821	116.4	278,324	116.0
バイオマーカー事業	30,690	—	—	—
合計	594,511	122.7	278,324	114.8

- (注) 1. 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2. 人材派遣事業については、業務の性質上受注として把握することが困難であるため記載しておりません。

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
メタボローム解析事業	385,035	123.8
バイオマーカー事業	30,690	407.6
人材派遣事業	35,020	100.4
合計	450,746	127.6

- (注) 1. 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。